

発行 車体発 17 第 283 号

2018 年 3 月 16 日

2018 年度（平成 30 年度）トレーラ国内需要見通し

日本自動車車体工業会トレーラ部会では、2018 年度のトレーラ国内需要見通しをまとめたので発表します。

1. 2017 年度のトレーラ需要見込み

2017 年度は輸出の拡大等を受けた増産が続くこと等により、企業業績が順調に拡大し、景気は回復基調を継続した。

これによりトレーラの生産は大きく台数が伸び、バンは前年比 108.7%、コンテナ用は同 112.9%、平床（あおり付きを含む）は同 107.9%と、リーマンショック以降、最高の生産台数を記録し、全体の台数を押し上げた。その他のトレーラは前年並であった。

2. 2018 年度のトレーラ需要見通し

年初の米国の長期金利利上げに端を発した日米株価の急落と、その後の乱高下があったが、調整の一巡後は再び緩やかに景気が拡大し続けるものと想定される。

トレーラの生産は年度前半には高い水準が期待されるが、昨年度後半から一部に一服感が見られるため、2017 年度の生産レベルからやや下がったところに落ち着くものと想定される。

こうしたことから、トレーラ総需要は 8,100 台、2017 年度比 97.6%と見込まれる。

・2018 年度トレーラ国内需要見通し

（単位：台）

年 度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	対前年比		
	(A)実績	(B)見通し	(C)予測	2017 年度 (B/A)	2018 年度 (C/B)	
合 計	7,680	8,300	8,100	108.1%	97.6%	
形 状	コンテナ用	2,214	2,500	2,200	112.9%	88.0%
	バン	2,484	2,700	2,800	108.7%	103.7%
	平床・低床	1,853	2,000	2,000	107.9%	100.0%
	その他特装系	1,129	1,100	1,100	97.4%	100.0%

（注）日本自動車車体工業会でいうトレーラとは貨物輸送用をいい、キャンピングトレーラ、ボートトレーラなどは除く